

まちづくり懇談会内容

日 時：令和 5 年 11 月 4 日(土) 18：30～19：54

場 所：中里公民館

出席者：6 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認及び進め方の説明

3. 懇談

(1) これからのまちづくりについて (資料①)

(2) 自由懇談

教育長説明

4. その他

○ごみ分別内容の変更 (資料②)

5. 閉会 町長挨拶

懇談会終了

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：日赤病院の改築は長い期間であるが、事業費が増えた場合はどのような対応となるのか。資材も高騰している状況なので、このままで進むのか心配である。

町長：金額は上がった部分も町が全額補助し、日赤病院が支出する仕組みですが、町は全額国からお金を借り、うち 7 割は国、日赤で 3 割を返すことなので、町の実質負担が増えることはありません。ただ、資材が高騰しているこのご時世で心配な部分もあり、プロポーザル審査会でも同様の質問が出ており、増える場合はその都度事業費を見直しながら行っていくこととしている。あくまで 63 億 7000 万を上限として、それを超える場合と考えているが、これ以上増えた場合は補正予算などが必要となるので対応できるようにする。

町民：栗山角田線を進むと共和公民館の前に、土地改良区のポンプ小屋があり、向かいに道路に沿って立つ木のわき枝がびっしり生えており、影にごみを投げている人がいる。枝の選定をお願いしたい。

町長：町で植えた木ですので、後日確認し対応いたします。

町民：学校のことは、町としての方向性を示すものではなく、町のみんなの意見に沿ったかたちで進めていくというものでよいのか。

教育長：はい、そうです。話し合いの場では、基礎となる資料や国や道の考え方なども提示したなかで、総合的に判断いただきたいと思っている。これまで多くの地域の皆さんからご意見をもらっている以上、いろんな立場の方の声を聴きながら考えていきたいと判断しました。

町民：今は学校は合併した方がいいと考える人、地域に残した方がいいと意見が分かれている感じですか。

教育長：実際に会議してみないとわかりませんが、いろいろな意見があると思われる。

町民：小学校の施設も対応年数も近づいてきていると思う。栗山町自体が町と農村が離れているので、長沼のように中間にもっていくのは大変だと思う。

町民：スクールバスで対応できれば一つでもいいと思うが。

町民：万一、日出の子が栗小に通うようなことがあれば難しいと思う

教育長：私が岩見沢で校長をしていたころは、50 分をリミットにしながら便数を組んでいた。そうすると7路線ほど組まないといけない。最短で、あまり便数を取らない地区もあれば、長いところを回っている地区もあり、その地区ごとの考えや予算の関係もあるので、話に今後出てくるかもしれないが、どういう角度で意見が出るかは、会議を開いてみないとわからない。

町民：維持してやっていくためには、なんでもかんでも合併とはいかないけど、一つでも合併できるのであれば、単独で合併するのにならないと思うけど。市町村合併だって今後あるかもしれない。親の送迎が前提になるかもしれないです。

教育長：具体的な議論に入る際、皆さんよろしく願います

町民：工業団地の第5期の後は、どこに行くのでしょうか。だんだん終わりに近づいているのでは。

町長：第6期は値ごろ市の裏側をまだ町有地ではないが候補地として考えている。それが終わると国道の向かい側も用地指定はしている。ただ地権者さんとの問題もありますので、そのように進んでいけるように頑張って企業誘致していければと思います。

町民：農地を買い取ってやるということですね。

町長：色んな手続きを踏む必要があり、地権者とのやり取りがあるので、農地からの除外する手続き、開発工事の手続きなど実際に取り掛かると2～3年はかかる。まずは現在の区

画への誘致をしっかりとできるように頑張っていきたい。

町民：4期分まではほぼ埋まっているのですか。

町長：35区画中残り6区画です。うち3区画は誘致交渉中なので、残り3つしかありません。そのため第6期を進めるものです。

町民：千歳に半導体メーカーが来る関係で、追分がベッドタウン的な場所として子どもが増えるんじゃないのかという話を聞いた。栗山の工業団地にも大きな企業が入れば、学校などに好影響が出るのではないかと思う。

町長：好影響は出ると思います。熊本県にある半導体の集積地では、ベルト地帯のように工業団地一帯が発展していると聞いている。千歳を中心に、栗山もそういった集積地となれば、近郊も含めて発展が期待できる。以前、苫小牧に企業が来た際は近隣も集積に期待していたが、結局は苫小牧東部の工業団地の恩恵しか受けなかったという話もある。今回の千歳の件は国も入った形で進めているので、広い範囲で恩恵が受けられるように進めていただけたと思います。企業も千歳の地価が高くなってしまっていることで、栗山に進出してくれる可能性は十分あると考える。

町民：千歳の広域処理施設は特に連絡せず、行くとすぐに捨てることができるのか。

環境政策課主幹：利用については2市4町の住民であることが前提であるため、ネットで申請書をダウンロードし記入する、もしくは直接現地で記入し、申し込んだ上で利用できる。また、必ず運転免許証やマイナンバーカードの用意が必要になる。なお例外として、町外のお子さんが代わりにゴミを投げに行くケースなども想定しており、その際は役場で事前に証明を受けてから利用できる。

町民：町の窓口で一括申請できたら早いと思うが

環境政策課主幹：町の窓口でも用紙をお渡ししている。現在の桜山環境センターの利用も用紙を持って、訪問して利用することができる。

町民：共和のリサイクルセンターは引き続き動かしていくのか？

環境政策課主幹：まだ未確定であるが、環境センターの生ごみの堆肥化施設は停止する予定になっており、こちらの要望としては施設の集約化を図り、リサイクルセンターの機能を環境センターに持っていきたいという思いがあり、検討している。まだ結果が出ていないので当面は使っていくが、昭和50年代の建物でかなり老朽化しているので、改修は必要と考えている。集約化後の利用についてはまだ決まっていないが、現状はそうに考えている。